

「火宅」国際アニメフェスティバル・バルナ'81グランプリ受賞記念

川本喜八郎の世界

「旅」「犬儒戯画」—幻の2作を含む

全作品一挙上映!

●火宅 当日ロビーにて人形、小道具を展示します。



会場＝日仏会館 (お茶の水駅)
下車3分

初公開の長編アニメ

●蓮如とその母

1月/11 Aプロ 日(月) 12 Bプロ 日(火) ・18 Bプロ 日(月) 19 Aプロ 日(火)

上映作品〔Aプロ〕花折り・鬼・道成寺・詩人の生涯・旅・犬儒戯画・火宅

上映作品〔Bプロ〕蓮如とその母・火宅／開映6時半～終映8時15分

入場料〔前売各プロ〕＝1000円〔前売AB通し〕＝1700円〔全席指定〕

(販売所)池袋文芸坐シネブティック、恵比寿シネブラザース50、荻窪／アニドウ ☎ 予あり

提供：川本喜八郎／主催：アニドウ ☎ 393-0344／協力：(株)エコー

ご あ い さ つ

最初の自主作品「花折り」を作ってから、もう13年になりました。人形アニメーションとかかわりあい、ということになると、なんと30年ということになります。こういう仕事で、よくやってこられたものだ、と不思議な気がします。今回、はからずも「火宅」が、バルナの国際アニメーション映画祭でアニメーション作家の最高の荣誉であるグランプリを、いただく



ことが出来たのを機会に、今まで作った自主の7本の作品に、演出を依頼された長篇1本を加えて、すべてを御覧いただき、これをひとくぎりとして、これからの方向を考えてみたいと思います。今見ますと、中には恥かしいようなものもありますが、恥も肥料になるのでは、と思って上映に踏み込みました。今後とも、今までのように御支援いただければ幸いです。

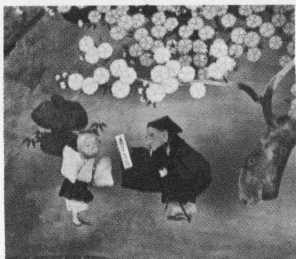
1981年11月 川本喜八郎

花折り

●一九六八／16ミリ／14分

最初の自主作品として、桃山風の華やかな明るい物語りを作った。壬生狂言の同名の演目より取材した。

声の出演……黒柳徹子
音楽……小森昭宏



鬼

●一九七二／35ミリ／8分

今昔物語りの中に伝えられるこの不条理な説話は、「戻り橋」など一連の鬼物語りの原形といわれている。漆黒に金の蒔絵のような闇の中に、この物語りを置いたら、ゾッとするような美しさが生れるのではないか、と思ったのが発端である。

音楽……三味線鶴沢清二
尺八……山口五郎



火宅

●一九七九／35ミリ／19分

何の因果関係もなく、地獄の業火にさらされている処女の、この不条理な物語りには、女に生れたための業といった、すさまじさがある。これは、「道成寺」よりも早く、作ってみたいというプランがあつたが、映像として仲々まとまらない難しい題材だった。

語り……観世静夫
音楽……武満 微



スタッフ（自主七作品のスタッフ）
パートごと。アイウエオ順
撮影……田村実・宮澤みきお・吉岡謙
照明……野村隆三
美術……小前隆・徳山正美・中川涼・原口智生・三木淳一・壬生露彦
人形……川本喜八郎・高橋佳代子・穂坂かほる・若佐ひろみ
アニメーション……石川隆男・及川功一・大向とさ子・尾崎良・川本喜八郎・秦泉寺博・峰岸裕和・宮澤みきお・吉田悟
録音……甲藤勇
効果……高橋巖
編集……相沢尚子
題字……後藤英夫

詩人の生涯

●一九七四／35ミリ／19分

安部公房の短篇より。今はジャケツという言葉も知らない若い人々が多いが、毛糸で編んだジャケツのことである。昭和20年代は、今はもう遠い昔のようになつてしまつた。時代の証人になろうとした主人公に強い共感を覚えるこのアニメーションを作った。

音楽……湯浅譲二

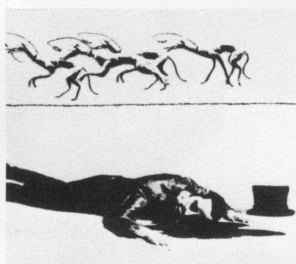


犬儒戯画

●一九七〇／35ミリ／8分

横光利一の短篇「シルクハット」を自由に脚色した。ファシズムの中での大衆に、いかに真実の声がとどまらぬか、という寓話を作つてみたかった。

声の出演……ニッラ・パティユ



道成寺

●一九七六／35ミリ／19分

「道成寺」は、日本人なら誰でもやってみたものの一つで、色々なジャンルで色々に試みられている。人形アニメーションという新しいメディアの中で、永遠のテーマである男の業、女の業の悲しさ、恐ろしさを表現してみたかった。

音楽……松村禎三



旅

●一九七三／35ミリ／12分

人生の旅。それは昔の認識、しかし、それを認識したかといつて、自分のまわりの世の中は何も変わらない。自分を変つてしまった。蘇東坡の旅の詩よりイメージを作った。



蓮如とその母

●一九八一／35ミリ／92分

これは、滋賀県同和問題研究所など四団体が制作にあつた。私としてははじめての長篇で、今までの自主の短篇を、詩を作るような気持ちで作つたのとは違い、小説を書くような気持ちで演出にあつた。セリフ、モーションなど、沢山の難所をくぐりぬけなければならなかったが、スタッフの惜しみない協力で、長篇を作るのは、短篇とはまた違つた面白さがある、ということを見つけた。

スタッフ、キャスト

原作……平井 清隆
脚本……本 藤 兼人
監督……川本喜八郎
プロデューサー……安東 民児
音楽……武満 実 徹
撮影……田村 隆 実
美術……徳山 正美
小道具……中川 三郎
人形製作……川本喜八郎
アニメーション……峰岸 裕和
エフエクトアニメ……秦泉寺博
編集……相澤 尚子
〔声の出演〕
蓮如……大門 正明
おれん……渡辺美佐子
妻……池上幸美子
法住……三浦連太郎
道覚……小沢 昭一
友情出演……黒柳 徹子
語り……岸田今日子
語り……小池 朝雄
制作……「蓮如とその母」
映画製作推進委員会